

① 申請者	広島県尾道市	② タイプ	地域型 シリアル型 A B C D E
③ タイトル			
【尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市】			
④ ストーリーの概要（２００字程度）			
尾道三山と対岸の島に囲まれた尾道 は、町の中心を通る「海の川」とも言うべき尾道水道の恵みによって、中世の開港以来、瀬戸内随一の良港として繁栄し、人・もの・財が集積した。 その結果、尾道三山と尾道水道の間の限られた生活空間に多くの寺社や庭園、住宅 が造られ、それらを結ぶ入り組んだ路地・坂道とともに中世から近代の趣を今に残す箱庭的都市が生み出された。 迷路に迷い込んだかのような路地や、坂道を抜けた先に突如として広がる風景は、限られた空間ながら実に様々な顔を見せ、今も昔も多くの人を惹きつけてやまない。			

広島県

尾道市

(様式1-2)

尾道旧市街地

〈凡例〉

- 中世
- 近世
- 近代
- 街道
- 坂道・路地

②1 尾道遺跡

絹本著色普賢延命像

阿弥陀三尊像(磨崖仏)

みはらし亭

旧福井邸

旧三井住友銀行尾道支店

旧尾道商業会議所
(尾道商業会議所記念館)

旧尾道商業会議所

ベニヤ祭

天寧寺塔婆

西國寺金堂・三重塔

西國寺仁王門

常称寺本堂・観音堂
大門・鐘楼

① 坂道と路地の景観

③ 西郷寺本堂・山門

①7 吉和太鼓おどり

①6 爽籟軒庭園

浄土寺本堂
及び境内地、多宝塔など

竹村家

①3 旧尾道銀行本店
(おのみち歴史博物館)

西山本館

①9 住吉祭

ストーリー

船に乗って尾道水道を進むと、川を遡っているような感覚になるだろう。尾道水道は、瀬戸内海に面した港町尾道と対岸の向島に挟まれた幅狭の水道で、いわば「海の川」である。利便性の高い「海の川」は重要な交通路として多くの商人に重宝され、尾道は、中世には瀬戸内海の人・もの・財が集積する港町として発展した。

この尾道水道と尾道三山（大宝山・摩尼山・瑠璃山）に縁どられた狭小な空間には、町の発展とともに多くの寺社が建てられた。寺社が増えるに従い、その周辺に更に家々が密集して建ち並び、現在の水道間際まで家々がせまる風景が作り出されることとなった。

船上から尾道を眺めれば、尾道三山と街の景色が一望できる。それぞれの山腹に中世の塔がそびえたち、その眼下には寺社と家々がひしめき合って山の斜面に建ち並んでいて、その間を縫うように路地と坂道が続いている景色である。

尾道の住民は、尾道水道とともに生き、暮らしてきた。



尾道水道と斜面地の景観



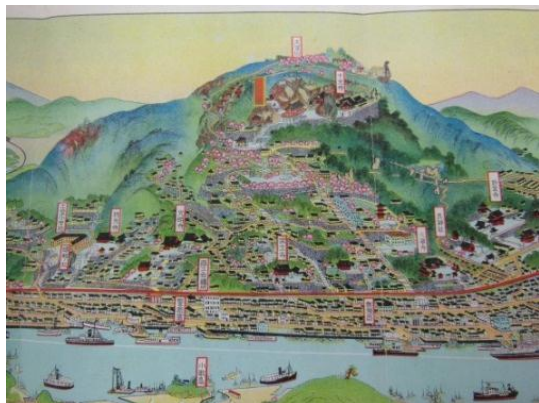
尾道水道と斜面地の景観

「この所のかたちは北にならびて、あさぢ深く岩ほこりしける山あり。ふもとにそひて家々所せくならびつつ、あみほすほどの庭だにすくなし。西よりひんがしに入うみとをく見えて、朝夕しほのみちひもいとはやりかなり。風のきをひに従ひて、行くる舟のほかげもいとおもしろく、遥なるみちのくつくし路のふねも多くとゆたゐるに、・・(略)」

この名文は、南北朝時代の著名な武将であり歌人の今川了俊^{いまがわりようしゅん}が書いた紀行文『道ゆきぶり』の一節である。中世の尾道の様子を最も美しく表した文章で、尾道三山と尾道水道に囲まれた港町に網を干すほどの庭も少ないほど、家々が密集しており、尾道水道は潮の流れも速く、風の吹くまま行き交う船の帆影も面白く、遠く東北や九州への船も寄港しているなど、当時から既に自然の良港として、瀬戸内随一の港町の発展の様子がうかがえる。

栈橋で船から降りると、太鼓の音やにぎやかな町の声が聞こえてくる。町中では四季折々の祭礼や伝統行事が行われており、細い路地でひしめき合う住民の中を、神輿などが練り歩き、町全体が活気にあふれている。

栈橋から斜面地に足を向けると、山麓の約2kmの範囲に今も中世から続く25の寺院が並び立っている。これらの寺社や住宅をつなぐ路地や坂道をたどれば、目の前に突然、寺院の大きな屋根や庭園をもつ住宅が現れたりする。また、斜面地には、生活に必要な井戸が点在し、その傾斜を利用して二階井戸が生まれ、坂道の上下の住宅で共有して井戸が使える仕組みができるなど、路地と坂道に点在する井戸端が、住民が集まる立体的な空間となっている。



尾道市観光案内（明治時代）



尾道市全景（明治時代）

こうした路地や坂道が尾道の生活基盤となっており、寺社や住宅、庭園そして港、尾道水道をつなげ、人々をつなげている。その路地や坂道を作り出している石段、石畳、石垣などは全て岩山である尾道三山から切り出された石でできていて、尾道は狭小な空間に展開する巨大な石造物といえる。路地や坂道を歩けば、こうした石垣や石段、井戸、さらには、寺社の石塔や狛犬、燈籠などの美しい石造物や巨岩に出会うことができる。斜面地では、不思議と祭りの喧騒もなく、静かで穏やかな時間が流れている。また、ふと振り返ると、坂道から対岸の向島や尾道水道、そして尾道の町並み全体を見渡すことができ、寺社や住宅と一体化した石造物に囲まれ、山と海と地域の一体的な景観の中にいる感覚を体験することができる。

尾道に住んだ志賀直哉は小説『暗夜行路』で、対岸の向島から石切場の人々の唄や作業の音が聞こえてきたり、千光寺の鐘の音がすぐ反響することなど、箱庭的要素を描き出した。現在でも対岸の造船所の音や尾道水道を通る船の音などが町中で聞こえてくる。

斜面地から下ると、境内を線路や道路で分断された寺社を抜け、密集した家々とそれをつなぐ細い路地が見える。路地に一步入ると、その先には神社や近代的な建物、住宅を改装したお洒落な店舗など、尾道が歩んできた様々な時代の文化を感じることができる。

このように、尾道では路地と坂道が複雑に入り組み、さらに人を迷わせ、迷路に迷い込んでしまったような感覚を体験できる。路地と坂道を抜けた先には、突如として、美しい尾道水道や寺社建築が姿をみせ、別世界に入り込んでしまったような空間が広がる。

尾道は、こうした限られた空間ながら実に様々な顔を見せ、今も昔も多くの人を惹きつけてやまない。



小路から見る尾道水道



ベッチャー祭



斜面地の坂道

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
①	坂道と路地の景観	未指定	斜面地と尾道水道沿いに縦横にめぐる急な坂道と細い路地は、寺社や近代化遺産などをつなぐ道であり、山と海と地域の一体的な景観を生み出している。	
②	浄土寺本堂及び境内地、多宝塔など	国 宝	尾道水道から港に入ると真っ先に見える中世寺院。本堂を始めとして中世の伽藍が残り、浄土寺山と一体となって箱庭の一部を形成する。	
③	西郷寺本堂・山門	国重文	本堂・山門は、背後の浄土寺山の稜線と美しい調和がとられ、寺院と山がセットで成立している。その隣には昭和初期の小学校建築物があり、参道でつながっている。	
④	西國寺金堂・三重塔	国重文	参道からの境内が最も広大な寺院。参道が市民の生活道であり、寺院と山と周囲の町並みが一体化している。坂道の途中に表れる中世寺院。	
⑤	西國寺仁王門	県重文	参道の途中にある仁王門。坂道からも見える大草鞋は、市民の信仰によるもの。	
⑥	常称寺本堂・観音堂・大門・鐘楼	国重文	鉄道と国道に境内を分断された中世寺院。路地を抜けると民家の間に突然大門が現れる。	
⑦	天寧寺塔婆	国重文	周辺の近代建造物の中で、そびえたつ中世の塔。坂道と路地を歩くと眼前に広がる重厚な塔は、斜面地を代表する景観を形成している。	
⑧	阿弥陀三尊像（磨崖仏）	市重文	千光寺の参道を上がると見える磨崖仏。密教の修行場として、山頂の岩肌には多くの彫刻が残り、かつての石造文化の名残を残す。	
⑨	旧福井邸	国登録	斜面地に建つ大正時代の代表的な邸宅。坂道と尾道水道の絶景を望めるこの場所では、近代の繁栄を思い起こすことができる。	
⑩	みはらし亭	国登録	斜面地に建つ大正時代の旅館。坂道と尾道水道の絶景を望めるこの場所では、近代の繁栄を思い起こすことができる。	
⑪	西山本館	国登録	大正時代建築の旅館。港、造船所関係者が多く宿泊し、外国人宿泊者用の洋室も残る。港周辺の土蔵とともに、港町の繁栄を思い起こせる。	

⑫	竹村家	国登録	大正時代建築の旅館。海辺に建つ景観から、映画『東京物語』ゆかりの地として知られる。	
⑬	旧尾道銀行本店 (おのみち歴史博物館)	市重文	大正時代建築の銀行。商都尾道の面影を残す建物で、港の中心にあった銀行浜に位置する。	
⑭	旧尾道商業会議所 (尾道商業会議所記念館)	市重文	尾道には全国で 30 番目に商業会議所が設置され、この建物は、大正時代の建築。商都尾道の中心であった。	
⑮	絹本著色普賢延命像 けんぽんちやくしよくふげんえんみょうぞう	国 宝	持光寺が天台宗寺院の際に製作寄進された中世密教寺院の宝物。坂道の始まりの寺であり、中世の繁栄を物語る資料である。	
⑯	爽籟軒庭園 そうらいけんでいえん	市名勝	江戸時代の豪商、橋本家の別荘。まちの中でさらに箱庭的な庭園である。尾道水道からは、川でつながっていた。	
⑰	吉和太鼓おどり	県無形民俗	足利尊氏の戦勝祝いに漁師たちが踊ったことが起源とされ、中世からの港町を横断し浄土寺までの町中を歩き、浄土寺境内で踊りが奉納される。	
⑱	ベッチャー祭	市無形民俗	江戸時代に港の疫病を退散する目的での神輿巡行が起源とされ、三匹の鬼が寺社や住宅を結ぶ路地・坂道を巡る奇祭である。	
⑲	住吉祭	未指定	江戸時代に港町の商人たちにより始められ、尾道水道という港町の象徴的な空間の中であがる「東の両国、西の住吉」と呼ばれた花火まつり。	
⑳	旧三井住友銀行尾道支店	市重文 (建造物)	尾道水道沿いの住友家と港町尾道をつなぐゆかりの地に建つ銀行。商都尾道の面影を残す建物で、近代の繁栄を物語っている。	
㉑	尾道遺跡及び出土遺物	未指定 (史跡及び考古資料)	中世～現代までの箱庭的都市尾道の歴史が重層する港湾都市遺跡。建物跡や護岸設備、寺院跡が確認され、陶磁器や木簡など多彩な遺物が出土している。	

(※ 1) 文化財の名称には適宜振り仮名を付けること。

(※ 2) 指定・未指定の別、文化財の分類を記載すること (例：国史跡、国重文 (工芸品)、県史跡、県有形、市無形等)。

(※ 3) 各構成文化財について、ストーリーとの関連を簡潔に記載すること (単に文化財の説明にならないように注意すること)。

(※ 4) ストーリーのタイプがシリアル型の場合のみ、市町村名を記載すること (複数の都道府県にまたがる場合は都道府県名もあわせて記載すること)。

構成文化財の写真一覧

① 坂道と路地の景観



④ 西國寺金堂、三重塔



② 浄土寺本堂及び境内地、多宝塔など



⑤ 西國寺仁王門



③ 西郷寺本堂・山門



⑥ 常称寺本堂・観音堂・大門・鐘楼



⑦ 天寧寺塔婆



⑪ 西山本館



⑧ 阿弥陀三尊像（磨崖仏）



⑫ 竹村家



⑨ 旧福井邸



⑬ 旧尾道銀行本店（おのみち歴史博物館）



⑩ みはらし亭



⑭ 旧尾道商業会議所（尾道商業会議所記念館）



⑰ 吉和太鼓おどり



⑮ 絹本著色普賢延命像



⑱ ベッチャー祭



⑯ 爽籟軒庭園



⑲ 住吉祭



②⑩ 旧三井住友銀行尾道支店



②⑪ 尾道遺跡及び出土遺物



日本遺産を通じた地域活性化計画

(1) 将来像 (ビジョン)

美しく尾道らしい景観の創造、交流人口の増加など地域活性化の促進、市民が誇りと愛着を持てる親しみのあるまちの創出を柱とし、尾道水道を中心とした尾道独特の街並み、歴史・文化的魅力に溢れた「日本遺産」という資源を活用しながら、①新たな魅力の創出をめざし、都市としてのブランド力を高める。②小さな都市でありながら他にはない魅力的な価値を持つ、市民が主役となるまちづくりを進め、新たな「尾道文化」を創造し、心豊かな活力ある地域社会の形成を図る。③「世界の尾道」と言われるべく、広域的、国際的な交流を更に推進する。

(2) 地域活性化のための取組の概要

1 「日本遺産のまち尾道」箱庭的都市のブランド力を国内外に向けて情報発信する。

「日本遺産のまち尾道」の坂道・尾道水道等の景観や歴史、文化の魅力を、観光マーケティングを踏まえたターゲット別戦略に基づき、しまなみ DMO 形成推進事業、外国人旅行者誘客事業、SNS 等を活用した PR 等効果的なプロモーション活動の展開によって発信する。

2 国宝・重要文化財等の保存活用を図り、歴史・文化に対する理解と魅力を向上させる。

尾道の特徴である様々な時代の文化財が一か所に凝縮している魅力を最大限に活用し、学校や生涯教育とも積極的に連携を図りながら、子どもから大人まで幅広い年代を対象とした尾道の歴史や日本遺産の講座や講演会、文化財めぐり等を開催する。

3 日本遺産構成文化財等の調査研究の推進

尾道市の歴史は古く、まだ知られていない文化財等が多く埋もれているので、構成文化財や歴史的風致の調査・研究を実施し、登録文化財への登録を行うなど、地域の魅力の更なる向上を図る。

4 地域に蓄積した文化財や優れた景観、多様な交流資源などを活かした観光振興を行う。

歴史ある多様な文化財の地域資源に磨きをかけ、その周辺環境（道路の美装化、夜間照明等）の美化に努め、様々な事業の充実や交流促進を図る。また、歴史的に価値ある建造物を保存、改修し、尾道市の歴史・文化・芸術が堪能できる交流施設として整備する。

日本遺産散策アプリによる周遊ルートを活かし、日本遺産の魅力をガイドできる文化遺産パートナーの養成に努め、滞在周遊型の旅行商品の企画等に取り組む。

5 地域の文化財や民俗芸能等の継承・育成を図り、地域のコミュニティの維持・向上を推進する。

地域における歴史的建造物の保存・活用や民俗芸能の担い手の確保・育成等を進めることにより、地域活性化及び郷土愛を醸成し、世代間を超えた地域コミュニティの向上を図る。

6 付加価値の高い観光戦略を実施し、人や物の交流を活性化させる。

山陽自動車道、中国やまなみ街道、瀬戸内しまなみ海道が結束する交通の要衝である尾道の利点を生かし、さらに海路、鉄路を戦略的に活用することにより、観光振興及び人や物の交流を促進し、来訪者の満足度の向上を図り、誘客につなげる。

7 訪日外国人が周遊しやすい環境を整備する。

外国人観光客の利便性を向上させるため、観光ガイドの育成・確保、無料 Wi-Fi の設置や駅や港、観光地における多言語対応など受け入れ環境の整備に取り組む。また、キャッシュレス化などを進めるとともに、二次交通の手段の確保など受け入れ環境の充実を図る。

（３）自立的・継続的な取組

協議会は尾道市の負担金によって運営されており、当面は負担金額を維持しながら活動を継続する。

日本遺産の魅力を国内外に情報発信し、構成団体や民間事業者による関連グッズの発売や旅行商品の造成など、「日本遺産」ブランドを活かした、商品開発を支援する。新型コロナウイルス感染症により移動や参加人数に制限がある中で、将来的にはインバウンドにつなげていくが、まずは県内やしまなみ海道沿線、中・四国地域等をターゲットに、身近なモノ、コト、ショク（食）に、全国最多の３つの日本遺産のストーリーを結びつけた、短い時間、少人数で新しい経験や食を楽しむことができるコンテンツを開発する。

日本遺産ブランドを活用して構成団体や民間事業者が収益を上げることにより、協議会への負担金の拠出等、協議会の運営資金の補填を目指す。

（４）構成文化財の保存と活用の好循環の創出に向けた取組

構成文化財には国宝や国の重要文化財が多く含まれており、尾道市歴史文化基本構想・文化財保存活用計画、尾道市歴史的風致維持向上計画に沿って、所有者、国、県等と協議しながら計画的に保存修理や総合防災事業を実施し、文化財の保存継承に取り組んでいる。

更に未指定の文化財や民俗芸能等を活用したイベントやマップの作成を市民団体が実施しており、連携、支援を行っている。

また、文化財について講座等（文化財講座、文化遺産パートナー養成講座、文化財愛護少年団、学校等での授業、文化財巡り）を幅広い世代、市内外に向けて実施することにより、文化財の愛護精神の醸成を図るとともに、七佛巡りやワークショップ、構成文化財巡りや体験を盛り込んだ旅行商品の造成や担い手の育成等につなげる。

（５）他の観光施策との連携

歴史、風土、文化により形成された景観や瀬戸内の十字路の優位性を活かして、観光による地域づくりを行い、街中の賑わい創出や交流人口の拡大のため、瀬戸内しまなみ海道の観光振興等と連携しながら情報発信や整備事業を実施している。

主な連携事業としては、尾道市歴史的風致維持向上計画に基づいた歩行者安全対策事業や夜間景観形成事業、しまなみ海道イベント開催事業、レンタサイクル事業、しまなみ DMO 形成推進事業、フィルムコミッション事業、外国人旅行者誘致事業、千光寺公園リニューアル事業等があげられる。

（６）実施体制

・協議会の名称

尾道市歴史文化まちづくり推進協議会

・構成団体

尾道市文化財保護委員会、尾道商工会議所、因島商工会議所、尾道しまなみ商工会、

（一社）尾道観光協会、（一社）因島観光協会、尾道市（文化振興課、観光課、まちづくり推進課）

※DMO しまなみジャパン、NP0 空き家再生プロジェクト等の民間団体と連携を図りながら、構成文化財の活用や、商品開発、イベントを実施している。

〔民間事業者との連携〕

構成文化財を巡るモデルコースの設定、体験メニューの開発、旅行商品の造成を寺院や観光事業者と連携しながら実施している。

また、日本遺産マッチング相談会やイベント等を積極的に活用して、日本遺産関連商品の販売ルートの開拓等を行っている。

(7) 地域活性化計画における目標と期待される効果

期待される効果	尾道独特の街並み、歴史・文化的魅力に溢れた「日本遺産」資源を国内外に情報発信し、歴史・文化の普及啓発を行うことにより、認知度や都市としてのブランド力の向上が期待できる。 また、市民や民間団体と市がともに協働しながら、新たな「尾道日本遺産文化」を創造し、活力ある地域社会を構築することで、交流人口の拡大、観光客の誘客につながる。 観光客数：H27年 6,746,966 人→R1年 6,826,030 人
---------	--

設定目標Ⅰ：日本遺産を活用した集客・活性化						
観光客入込み数	具体的な指標：尾道市観光客入込数（単位：人）					
年度	実績			目標		
	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
数値	4,922,508	5,216,394		5,351,000	5,492,000	5,633,000
目標値の設定の考え方 及び把握方法	毎年141千人の増加（尾道市総合計画 R6目標 5,774千人） 尾道市観光統計調査					
関連事業	1-①②、2-①②、4-①②③、5-①②、6-①、7-①②					

設定目標Ⅰ：日本遺産を活用した集客・活性化						
外国人観光客数	具体的な指標：尾道市外国人観光客数（単位：人）					
年度	実績			目標		
	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
数値	332,048	340,755		399,900	437,600	475,300
目標値の設定の考え方 及び把握方法	毎年37.7千人の増加（尾道市総合計画 R6目標 513千人） 尾道市観光統計調査					
関連事業	1-①、2-①②、4-①②③、5-①②、6-①、7-①②					

設定目標Ⅰ：日本遺産を活用した集客・活性化						
宿泊者数		具体的な指標：一人当たり観光消費額（単位：円）				
年度	実績			目標		
	H30 年	R1 年	R2 年	R3 年	R4 年	R5 年
数値	4, 230	4, 284		4, 365	4, 410	4, 455
目標値の設定の考え方 及び把握方法		毎年 45 円の増加（尾道市総合計画 R6 目標 4, 500 円） 尾道市観光統計調査				
関連事業		1-①②、2-①②、4-①②③、5-①②、6-①、7-①②				

設定目標Ⅱ：日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化						
地域の文化に誇りを感じ る住民の割合		具体的な指標：尾道市に愛着を感じる住民の割合 （単位：％）				
年度	実績			目標		
	H30 年	R1 年	R2 年	R3 年	R4 年	R5 年
数値	－	79. 4		82	83	84
目標値の設定の考え方 及び把握方法		毎年 1 ％の伸び（尾道市総合計画 R6 目標 85. 0％） 市民満足度調査				
関連事業		3-①、4-①②③、5-①②、6-①②				

設定目標Ⅱ：日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化						
〔計画評価指標〕		具体的な指標：				
年度	実績			目標		
	○年	○年	○年	○年	○年	○年
数値						
目標値の設定の考え方 及び把握方法						
関連事業						

設定目標Ⅲ：日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立						
[計画評価指標]		具体的な指標：ふるさと納税から日本遺産に充当される額 (単位：千円)				
年度	実績			目標		
	H30 年	R1 年	R2 年	R3 年	R4 年	R5 年
数値	2, 000	3, 500	3, 000	3, 600	3, 600	3, 600
目標値の設定の考え方 及び把握方法		令和 3 年度の額を維持する				
関連事業		2-①②				

設定目標Ⅳ：その他						
[計画評価指標]		具体的な指標：				
年度	実績			目標		
	○年	○年	○年	○年	○年	○年
数値						
目標値の設定の考え方 及び把握方法						
関連事業						

(8) 地域活性化のために行う事業

(8) - 1 組織整備

(事業番号 1 - ①)

事業名	しまなみ DM0 形成推進事業		
事業内容	観光地としてのブランドづくり、情報発信、プロモーション、マーケティング等の観光地経営の戦略策定に関して、推進母体である DM0 を運営する。 DM0 しまなみジャパン公式 HP では豊富な地域コンテンツを集約紹介し、ワンストップで申し込みができるシステムを構築している。日本遺産にまつわる食や体験も加え、地域事業者の販売促進に繋げる。		
実施主体	尾道市、DM0 しまなみジャパン		
事業期間	令和 3 年度～令和 5 年度		
事業評価指標	入込観光客数	具体的な指標	入込観光客数（千人）
実績値	平成 30 年度：4,923	令和 1 年度：5,216	令和 2 年度：
目標値	令和 3 年度：5,351	令和 4 年度：5,492	令和 5 年度：5,633
事業費	令和 3 年度：28,584 千円 令和 4 年度：28,584 千円 令和 5 年度：28,584 千円		

(事業番号 1 - ②)

事業名	ふるさと納税推進事業		
事業内容	尾道市のふるさと納税返礼品において、「宿泊券」は非常に人気があり、宿泊に、日本遺産構成文化財をガイド付きで巡る、お寺巡り、創作体験、日本遺産にまつわる食文化（出汁、酢、海産物加工品など）を楽しむ体験等をプラスし、尾道の魅力をもっと楽しむことが出来る返礼品を提供することにより、寄付者の増加につなげる。 また、ふるさと納税の HP を通じて、「日本遺産のまち尾道」の魅力を PR する。		
実施主体	尾道市		
事業期間	令和 3 年度～令和 5 年度		
事業評価指標	ふるさと納税寄付者数	具体的な指標	ふるさと納税寄付者数（人）
実績値	平成 30 年度：4,909	令和元年度：5,080	令和 2 年度：
目標値	令和 3 年度：6,700	令和 4 年度：7,300	令和 5 年度：7,900
事業費	令和 3 年度～令和 5 年度		

(8) - 2 戦略立案

(事業番号 2 - ①)

事業名	尾道市観光統計調査		
事業内容	観光客数、観光消費額等を調査し、観光戦略立案の参考とする。		
実施主体	尾道市		
事業期間	令和 3 年度～令和 5 年度		
事業評価指標	日本遺産の認知度	具体的な指標	日本遺産の認知度 (%)
実績値	平成 30 年度 : 38%	令和 1 年度 : 32%	令和 2 年度 :
目標値	令和 3 年度 : 45%	令和 4 年度 : 50%	令和 5 年度 : 55%
事業費			

(事業番号 2 - ②)

事業名	尾道市歴史的風致維持向上計画第 2 期計画の策定		
事業内容	尾道市歴史的風致維持向上計画は平成 24 年度から令和 3 年度までの 10 か年の期間で策定されている。 令和 4 年度からの 10 か年の第 2 期計画を策定し、歴史により形成された、中世から現在まで様々な時代の文化財が重なり合う特色と魅力を活かした街づくりを行い、文化財や歴史的風致を活かした観光振興を行う。		
実施主体	尾道市、尾道市歴史的風致維持向上計画推進協議会		
事業期間	令和 3 年度 (計画策定) 令和 4 年度～第 2 期計画実施		
事業評価指標	入込観光客数	具体的な指標	入込観光客数 (千人)
実績値	平成 30 年度 : 4,923	令和 1 年度 : 5,216	令和 2 年度 :
目標値	令和 3 年度 : 5,351	令和 4 年度 : 5,492	令和 5 年度 : 5,633
事業費	令和○年度 :	令和○年度 :	令和○年度 :

(8) - 3 人材育成

(事業番号 3 - ①)

事業名	文化遺産パートナー養成事業等		
事業内容	日本遺産のガイドや調査研究等を積極的に行う文化遺産パートナーを養成する講習会やワークショップを開催し、より効果的な日本遺産の活用と人材育成を図る。講座では歴史だけではなく、SNS を使った情報発信の方法なども取り上げ、文化遺産パートナーによる、積極的な「日本遺産のまち尾道」の情報発信につなげる。 また、尾道観光協会で実施している観光ガイド付きの個人ツアー等で、HP 等からの申請時に、文化遺産パートナー認定者など、ガイドのグレードを可視化し、日本遺産のまち尾道をより深く体験できる仕組みづくりを行うとともに、ガイドの意識向上によるレベルアップを図る。		
実施主体	尾道市歴史まちづくり推進協議会、(一社) おのみち観光協会他		
事業期間	令和 3 年度～令和 5 年度		
事業評価指標	地域民間プレーヤー	具体的な指標	文化遺産パートナー登録者数
実績値	平成 30 年度 : 220 人 令和 1 年度 : 238 人 令和 2 年度 : 238 人		
目標値	令和 3 年度 : 250 人 令和 4 年度 : 260 人 令和 5 年度 : 270 人		
事業費	令和 3 年度 : 152 千円 令和 4 年度 : 152 千円 令和 5 年度 : 152 千円		

(事業番号 3 - ②)

事業名			
事業内容			
実施主体			
事業期間			
事業評価指標		具体的な指標	
実績値	平成○年度 :	令和○年度 :	令和○年度 :
目標値	令和○年度 :	令和○年度 :	令和○年度 :
事業費	令和○年度 :	令和○年度 :	令和○年度 :

(8) - 4 整備

(事業番号 4 - ①)

事業名	歴史的風致維持向上事業		
事業内容	歴史的風致向上計画に基づき、道路美装化事業、街並み形成事業補助等を実施し、日本遺産のストーリーを構成している魅力的な街並みと景観の形成と維持を行う。 ※令和 4 年度、5 年度も予算は未定であるが継続予定。		
実施主体	尾道市		
事業期間	令和 3 年度～令和 5 年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	総観光客数（千人）
実績値	平成 30 年度：6,394 令和 1 年度：6,826 令和 2 年度：		
目標値	令和 3 年度：7,194 令和 4 年度：7,378 令和 5 年度：7,562		
事業費	令和 3 年度：80,000 千円 令和 4 年度以降未定		

(事業番号 4 - ②)

事業名	まちなか文化交流施設整備事業		
事業内容	貴重な近代建築である旧三井住友銀行尾道支店（構成文化財に追加申請中）を、保存、改修し、尾道市の歴史・文化・芸術が堪能できる交流施設として整備する。また、日本遺産ビジターセンターとしても活用する。 本施設の活用計画、保存、改修工事案の作成には、NPO 空き家再生プロジェクトの構成員も加わり、連携しながら事業を推進している。		
実施主体	尾道市（連携：尾道市文化協会、NPO 空き家再生プロジェクト他）		
事業期間	令和 3 年度～令和 5 年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	総観光客数（千人）
実績値	平成 30 年度：6,394 令和 1 年度：6,826 令和 2 年度：		
目標値	令和 3 年度：7,194 令和 4 年度：7,378 令和 5 年度：7,562		
事業費	令和 3 年度：10,005 千円 令和 4 年度：105,500 千円 令和 5 年度：未定		

(8) - 4 整備

(事業番号 4 - ①)

事業名	歴史的風致維持向上事業		
事業内容	歴史的風致向上計画に基づき、道路美装化事業、街並み形成事業補助等を実施し、日本遺産のストーリーを構成している魅力的な街並みと景観の形成と維持を行う。 ※令和 4 年度、5 年度も予算は未定であるが継続予定。		
実施主体	尾道市		
事業期間	令和 3 年度～令和 5 年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	総観光客数（千人）
実績値	平成 30 年度：6,394 令和 1 年度：6,826 令和 2 年度：		
目標値	令和 3 年度：7,194 令和 4 年度：7,378 令和 5 年度：7,562		
事業費	令和 3 年度：80,000 千円 令和 4 年度以降未定		

(事業番号 4 - ②)

事業名	夜間景観整備事業		
事業内容	夜間景観基本構想に基づいて、歴史的な背景を持つ尾道の街並みにふさわしい施設整備や、歴史的建築物のライトアップを実施し、市民や観光客が夜の街歩きを楽しみ、賑わいが生まれることにより、滞在時間の延長に繋げ、観光産業の収益を高める。		
実施主体	尾道市		
事業期間	令和 3 年度～令和 5 年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	総観光客数（千人）
実績値	平成 30 年度：6,394 令和 1 年度：6,826 令和 2 年度：		
目標値	令和 3 年度：7,194 令和 4 年度：7,378 令和 5 年度：7,562		
事業費	令和 3 年度：10,005 千円 令和 4 年度：105,500 千円 令和 5 年度：未定		

(8) - 4 整備

(事業番号 4 - ③)

事業名	文化財保護事業		
事業内容	重要文化財である建造物の保存・修理・総合防災事業を実施し、後世に貴重な文化財を伝承するとともに活用する。 また、保存修理に伴う調査結果や、保存修理中でなければ見ることが出来ない部分の見学会や、展覧会を実施し、記録集の作成や配布を行うことにより、市民への普及を図るとともに、コアな歴史ファンの来訪の増加につなげる。		
実施主体	尾道市		
事業期間	令和 3 年度～令和 5 年度		
事業評価指標	その他	事業評価指標	有形登録文化財件数
実績値	平成 30 年度 : 33 件	令和 1 年度 : 33 件	令和 2 年度 : 34 件
目標値	令和 3 年度 : 35 件	令和 4 年度 : 36 件	令和 5 年度 : 37 件
事業費	令和 3 年度 : 212, 250 千円 令和 4 年度 : 345, 750 千円 令和 5 年度 : 130, 820 千円		

(事業番号 4 - ④)

事業名			
事業内容			
実施主体			
事業期間			
事業評価指標		事業評価指標	
実績値	平成○年度 :	令和○年度 :	令和○年度 :
目標値	令和○年度 :	令和○年度 :	令和○年度 :
事業費	令和○年度 :	令和○年度 :	令和○年度 :

(8) - 6 普及啓発

(事業番号 6 - ①)

事業名	日本遺産講座、日本遺産めぐり、日本遺産のまち尾道展覧会等の開催		
事業内容	「日本遺産のまち尾道」展の開催や講座、日本遺産めぐりを開催することにより、ストーリーや構成文化財の魅力を広く国内に紹介・周知するとともに、尾道観光協会、因島観光協会、DMO しまなみジャパン等と連携し、個人向けツアー等の体験型商品の磨き上げ、更には商品点数の増加につなげる。		
実施主体	尾道市歴史まちづくり推進協議会 尾道観光協会、因島観光協会、DMO しまなみジャパン等		
事業期間	令和 3 年度～令和 5 年度		
事業評価指標	日本遺産の認知度	具体的な指標	日本遺産の認知度 (%)
実績値	平成 30 年度 : 38% 令和 1 年度 : 32% 令和 1 年度 :		
目標値	令和 3 年度 : 45% 令和 4 年度 : 50% 令和 5 年度 : 55%		
事業費	令和 3 年度 : 152 千円 令和 4 年度 : 152 千円 令和 5 年度 : 152 千円		

(事業番号 6 - ②)

事業名	文化財普及啓発事業		
事業内容	日本遺産の構成文化財に追加申請中である尾道遺跡と埋蔵文化財を調査・保存するとともに、貴重な文化財の普及啓発を行う。 おのみち歴史博物館等で出土品と尾道の繁栄を結び付けた展示等を行い、市民の地域への愛着や誇りを造成するとともに、日本遺産のまち尾道（箱庭的都市）が形成された遺跡の魅力を紹介することにより、集客に繋げる。		
実施主体	尾道市		
事業期間	令和 3 年度～令和 5 年度		
事業評価指標	その他	事業評価指標	有形登録文化財件数
実績値	平成 30 年度 : 33 件	令和 1 年度 : 33 件	令和 2 年度 : 34 件
目標値	令和 3 年度 : 35 件	令和 4 年度 : 36 件	令和 5 年度 : 37 件
事業費	令和 3 年度 : 2,000 千円 令和 4 年度 : 4,000 千円 令和 5 年度 : 4,000 千円		

(8) - 7 情報編集・発信

(事業番号 7-①)

事業名	総合的情報発信事業		
事業内容	総合パンフレット、HP、アプリの内容を更新、増刷、維持管理しながら、ターゲットごとに異なる媒体（高齢者は紙媒体、若年層は SNS 等）によって、「日本遺産のまち尾道」の魅力を発信する。 また、アプリを活用したイベント等を実施して日本遺産のストーリーをより体験できるまち歩きの仕掛けづくりを行う。 更に、訪問者が SNS 等で尾道の魅力を発信し、さらなる情報発信につながる仕掛けづくりを行う。		
実施主体	尾道市歴史まちづくり推進協議会		
事業期間	令和 3 年度～令和 5 年度		
事業評価指標	ウェブサイトのページビュー	具体的な指標	アプリのダウンロード数
実績値	平成 30 年度：4,079 令和 1 年度：4,872 令和 2 年度：		
目標値	令和 3 年度：5,900 令和 4 年度：6,400 令和 5 年度：6,900		
事業費	令和 3 年度：824 千円 令和 4 年度：1,594 千円 令和 5 年度：1,594 千円		

(事業番号 7-②)

事業名	情報発信事業		
事業内容	日本遺産サミット、北前船フォーラム等のイベントに積極的に出展し、パンフレットの配布や映像の上映だけではなく、ノベルティの配布や物販、ワークショップを行うことにより「日本遺産のまち尾道」の魅力にモノ、コト、ショク（食）を付加し、来訪者の増加を促進する。		
実施主体	尾道市歴史まちづくり推進協議会		
事業期間	令和 3 年度～令和 5 年度		
事業評価指標	その他	具体的な指標	総観光客数（千人）
実績値	平成 30 年度：6,394 令和 1 年度：6,826 令和 2 年度：		
目標値	令和 3 年度：7,194 令和 4 年度：7,378 令和 5 年度：7,562		
事業費	令和 3 年度：1,100 千円 令和 4 年度：1,594 千円 令和 5 年度：1,594 千円		